

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第2部門第3区分  
【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2017-159382(P2017-159382A)  
【公開日】平成29年9月14日(2017.9.14)  
【年通号数】公開・登録公報2017-035  
【出願番号】特願2016-44113(P2016-44113)  
【国際特許分類】

**B 2 4 B 49/12 (2006.01)**

**B 2 4 B 37/28 (2012.01)**

**H 0 1 L 21/304 (2006.01)**

【F I】

B 2 4 B 49/12

B 2 4 B 37/04 U

H 0 1 L 21/304 6 2 2 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月26日(2018.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

前記第2プローブ50からのレーザー光は、ワーク40の研磨加工中に常時照射されていても良いが、該第2プローブ50の真下に上定盤2の第2測定窓部52とキャリア30の透光部材35とが並ぶ瞬間だけに照射されるように制御されていてもよい。この場合、複数の第2測定窓部52を等間隔で配置したことで、規則的なタイミングで照射することができる。なお、第2測定窓部52を複数設けたことで、測定回数が多くなって測定精度も向上する。

また、前記第2プローブ50による測定データは、前記第2光ファイバー51を通じて光のまま前記演算制御部29に送っても良いが、前記第2プローブ50で電気信号に変換し、該第2プローブ50と前記演算制御部29とを結ぶ不図示の電気ケーブルを通じて該演算制御部29に送っても良く、あるいは無線で送っても構わない。